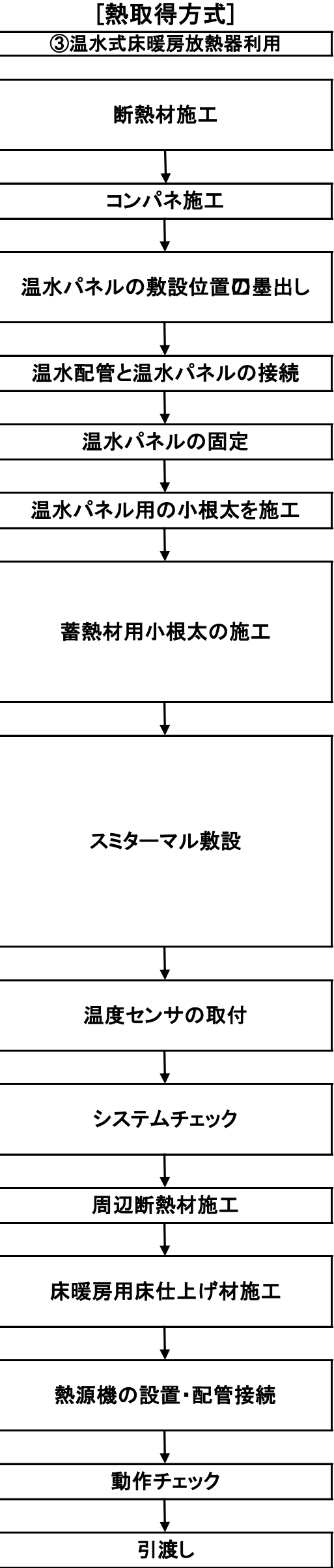


# スミターマル【32P9BX・32P15BX・32P20BX・32P25BX】 設計・施工マニュアル②ー2 【温水式床暖房放熱器利用】

## 工事の概要とポイント

### [工事フロー]



### [工事のポイント]

※敷設場所は床・壁の仕上げ材反室内・床下とする。

・対象室の断熱材はH11年省エネ基準以上の断熱を確保する。  
また敷設範囲は、暖房室全体に行う。

・コンパネは厚み12mm以上のものを敷設する。

・温水パネルを敷設する場所は、ゴミ・ほこりなどが無いようにきれいに掃除をしてください。  
・敷設図に合せて温水パネルを並べ、温水パネル敷設部・配管立ち上げの位置を墨出しする。

・配管と温水パネルの接続を行う。

・敷設図に合せて、温水パネルを並べる。墨出し位置に小根太でコースレッドネジで固定する。

・温水パネル(9mm)両側に小根太を固定する

・スミターマル用小根太  
(32P9BX 9mm・32P15BX 15mm・32P20BX 20mm・32P25BX 25mm)  
・根太は、含水率17%以下のものを使用する。  
(含水率が高いと、暖房使用時に床面トラブルの恐れがあり注意する)

・温水パネルの上に蓄熱材を敷設する。  
・スミターマルを敷設する場所は、ゴミ・ほこりなどが無いようにきれいに掃除をする。  
・スミターマルに釘を打ったり、切断しての敷設は行えません。  
※破損の恐れがあるため、脚立など先の尖ったものをスミターマルの上には乗せない。  
※スミターマルの敷設は破損を防ぐため、床仕上げ材の施工の寸前に行う。  
・温水パネルの釘打ち禁止部の小根太には上部から見てわかるようにマーキングを必ず行う。

・温度センサは蓄熱材の上面の溝の中にセットする。  
・センサ位置は、上部に物が置かれなくかつ日射が少ないところを選ぶ。

・温水配管 : 0.2MPaで30分以上保持して漏れがないことを確認する。  
・温度センサ : 抵抗値をチェックする。

・床暖パネルを施工していない小根太間の全てに、小根太高さの断熱材を敷設する(幅50mm以上)

・床暖房用床仕上材を使用し、釘・接着剤を併用する。  
(蓄熱材や釘打ち禁止部、配管に釘を打ちこまないように注意する。)

・圧力が保持されていることを確認し、熱源機に接続する。  
・接続は間違いがないように十分注意して行う。

・コントローラ・熱源機の動作チェックを行う。

・お客様に取扱い方法(敷設箇所には釘打ち不可)等の説明を行う。

※施工図は蓄熱材の配置位置がわかるように必ず作成して下さい。また、施工部位(床・壁・床下)も記載して下さい。